

各種制度・待遇等 手厚い制度野待遇で働くキミをバックアップ！

■ 初任給、その他の手当等 (令和7年4月1日現在)

職員の給与は、大別すると、[給料]と[諸手当]に区分されます。その内容は次のとおりです。

● 給与

初任給は右表のとおりですが、採用前の学歴・経験に応じて、一定の基準により加算されることがあります。

区分	初任給
I種	227,300円 (全職種)
II種	212,100円 (全職種)
III種	195,800円 (全職種)

● 諸手当

採用された職員や勤務の状況に応じて、扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当(6月と12月)などの諸手当が支給されます。

■ 主な休暇

休暇の種類	取得できる日数等
年次休暇	採用の年 : 15日(4月採用の場合) 2年目以降 : 20日
病気休暇	3か月以内 (ただし、生活習慣病などは6か月以内)
夏季休暇	6月から10月までに5日間
結婚休暇	7日以内
キャリアアップ休暇	勤続15年 : 3日以内 勤続25年 : 5日以内

■ 研修制度

- 基本研修
- 職場研修(OJT)
- 選択研修
- 派遣研修
- 自己啓発支援制度

■ 福利厚生

- 岩手県職員互助会
- 県庁内保育施設(うちまる保育園)
- 職員公舎

● 出産・育児に関する主な休暇

- 産前・産後休暇
- 育児休業
- 男性職員の育児参加休暇
- 保育時間
- 子等の看護休暇

県職員を支える
充実のバックアップ体制

さらに詳しい情報はHPをチェックしてください



申込みから採用までの流れ



岩手県職員採用試験の申込み等について

■ 受験案内の入手方法

岩手県職員募集案内ホームページの「受験案内」からダウンロードしてください。

※受験案内は、4月上旬までに公表予定です。

<https://www2.pref.iwate.jp/~hp0741/annai/index.html>



■ 受験申込方法

岩手県電子申請・届出サービス

以下の URL から「岩手県電子申請・届出サービス」にアクセスし、申込手続を行ってください。

<https://s-kantan.jp/pref-iwate-u/>



 岩手県建築職員確保対策チーム
(岩手県県土整備部建築住宅課)

TEL: 019-629-5933

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 8階



本パンフレットは、
下記よりダウンロードができます。
<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kendoseibi/gaiyou/index.html>



説明会情報や過去のセミナー情報はホームページからご確認ください。また、X(旧Twitter)でも随時情報を発信しています。



いわての建築を、
未来を、
創造しよう。



岩手県建築職
採用案内
パンフレット



建築職って、
どんな仕事をするの？
どんなふうに働いているの？
あなたの「知りたい」を
「やりたい」に。
さあ、一緒に
岩手の未来を創造しよう。

contents

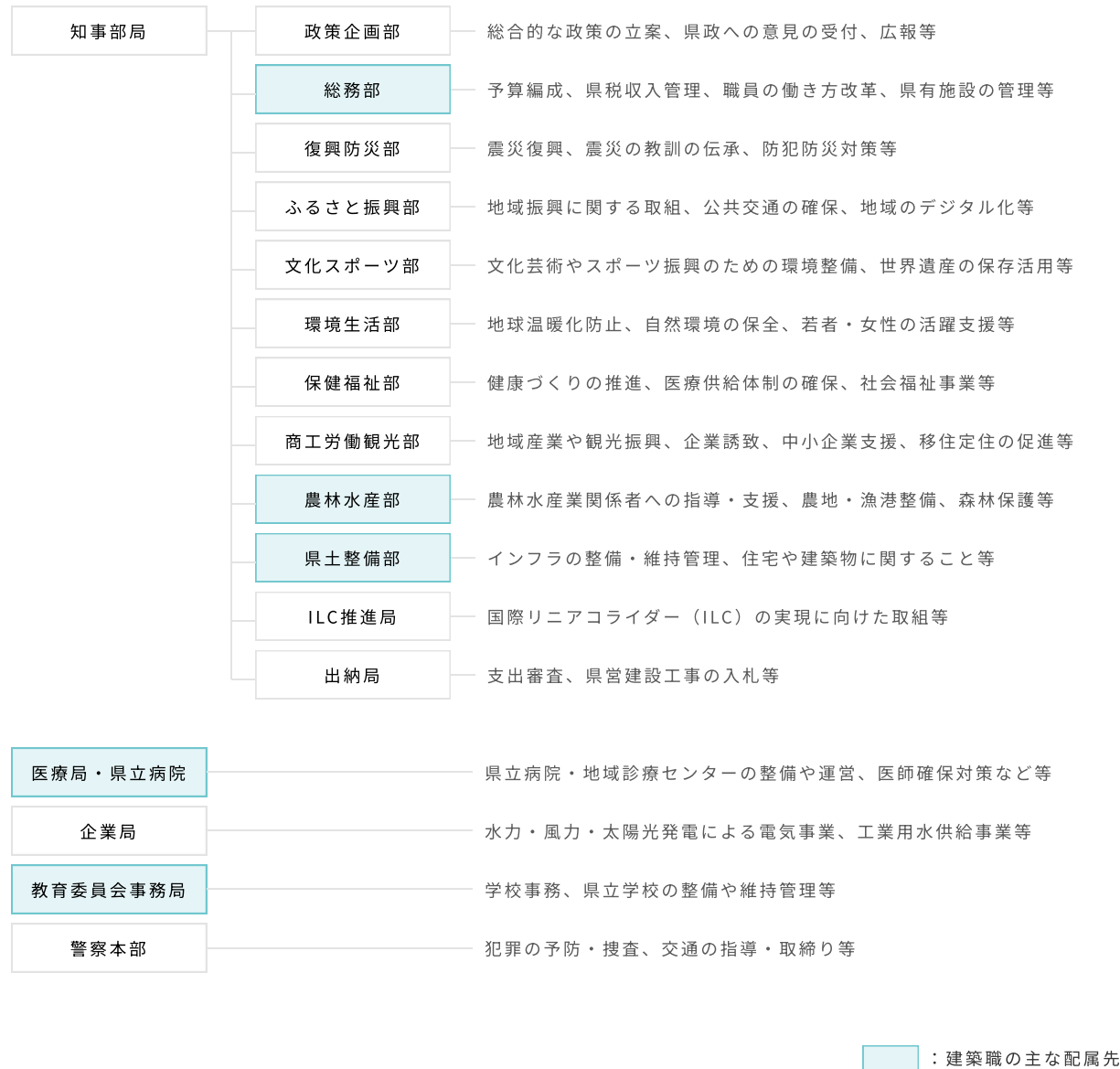
- 01 建築職の仕事について
いわてを支える組織と仕事
主な配属先一覧
業務紹介
- 02 建築職員の声
- 03 建築公務員の魅力



いわての建築を創り、守り、支える仕事

いわてを支える組織と仕事

令和5年12月時点



いわてを支える組織と仕事

詳しくはこちらから →



主な配属先一覧

※ 建築職員の配属先は、希望や適性を踏まえた上で決定されます

建築関係職員の配属先と役割

● 本庁

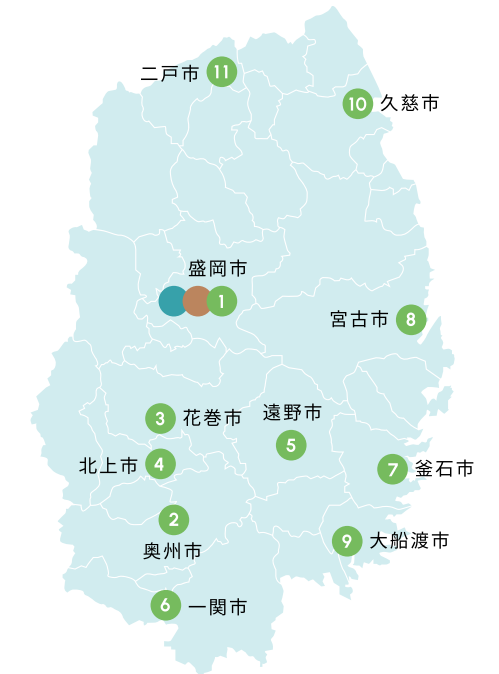
- 県全体のとりまとめ
- 建築・住宅施策の企画・推進
- 国との連携
- 予算要求
- 工事の設計、発注
- 県有施設の保全

● 広域振興局

- 建築指導
- 工事監理
- 県有施設の管理
- 市町村との連携

● その他

- 工事の設計、発注
- 工事監理



主な配属先一覧

本庁

県土整備部	建築住宅課 (建築・住宅施策の企画・推進、工事の設計・監理等)	建設技術振興課 (建築工事の品質を確保するための各種基準の策定等)
	都市計画課 (市街地の活性化、歴史的な景観に配慮した街づくり)	県土整備企画室 (県土整備行政の企画調整等)
農林水産部	林業振興課 (県産木材の需要拡大や木質バイオマスの利用拡大等の推進等)	
総務部	管財課 (県庁舎、地区合同庁舎等の維持保全等)	

広域振興局

1 盛岡広域振興局土木部 (盛岡市)	沿岸広域振興局土木部	● 7 本局 (釜石市)	● 8 宮古土木センター (宮古市)	● 9 大船渡土木センター (大船渡市)	● 10 本局 (久慈市)	● 11 二戸土木センター (二戸市)
● 2 本局 (奥州市)	● 3 花巻土木センター (花巻市)					
県南広域振興局土木部		● その他				
		教育委員会 (教育施設の工事設計、発注、監理、施設の保全)				
		医療局 (県立病院の工事設計、発注、監理、施設の保全)				

営繕 行政

Repairs Administration

公共建築物の整備及び保全

関係のある配属先： **建築住宅課** **建設技術振興課** **管財課** **教育委員会** **医療局**

01
JOB DESCRIPTION

公共建築物の設計・工事監督

職員が働く庁舎、県立病院、県立学校や教育施設など数多くの公共建築物があります。計画段階から施設所管部局と調整を行いながら、新築・改修などの工事の設計・工事監督業務を行っています。

02
JOB DESCRIPTION

公共建築物のマネジメント

建築物は建設して終わりではありません。公共施設の利用者が、より快適、より長く使われるように、整備した後も維持管理・保全や長寿命化対策に取り組んでいます。



住宅 行政

Housing Administration

誰もが安心して暮らせる住環境整備の推進

関係のある配属先： **建築住宅課** **各広域振興局土木部** **林業振興課**

01
JOB DESCRIPTION

持続可能なグリーン社会の実現に向けた取組

地球温暖化対策のためのグリーン社会の実現には、建築物の高断熱化による省エネ対策や県産木材の利用が必要です。県では、快適で健康な生活を実現し、岩手の気候、歴史や文化に根差した住宅を普及するため、「岩手型住宅ガイドライン」の普及に取り組んでいます。

02
JOB DESCRIPTION

岩手県産材

岩手県は、本州一の森林面積を誇る森林県です。県では、県産木材を構造や内装に使用した岩手型住宅の普及に取り組んでいます。その他にも、県産木材を活用した非住宅建築の普及や庁内の木質化等にも取り組んでいます。



建築 行政

Architectural Administration

建築物の安心安全の確保

関係のある配属先： **建築住宅課** **各広域振興局土木部**

01
JOB DESCRIPTION

建築物に関する法令に基づく審査事務

地震や火災等に対して安全か、利用者が健康に過ごせるか、日照、交通など周辺に与える環境が配慮されているかなどの基準を満たしているか確認しています。

02
JOB DESCRIPTION

既存建築物の安全性の向上

大規模地震等の災害に備え、耐震性能が不足している住宅・建築物への補助や小学校への耐震の出前事業などに取り組んでいます。また、がけ地や土砂災害のおそれのある場所に建てられている住宅の移転に対する支援などを行っています。

03
JOB DESCRIPTION

建築物のバリアフリー・ユニバーサルデザイン

岩手県では、すべての人があらゆる活動に参加する機会が保障される地域社会づくりを目指しています。建築分野では、多くの人が利用する施設について、安全・円滑に利用できるよう、基準への適合確認等を行っています。



まちづくり 行政

Town Development Administration

魅力あるまちづくりの推進

関係のある配属先： **都市計画課** **建築住宅課**

01
JOB DESCRIPTION

空き家対策

岩手県の住宅のうち16.1%（7戸に1戸）が空き家と言われており、防災・防犯・衛生・景観上の面での問題が危惧されます。一方で、空き家には資源としての価値もあります。県では、空き家の防止・管理・活用策や地域の魅力を高め、地域を活性化するリノベーションまちづくりの促進に取り組んでいます。

02
JOB DESCRIPTION

快適で魅力あるまちづくりの推進

岩手県には自然との共生や歴史や文化が感じられる景観が数多くあります。県は、地域住民やNPO、市町村等と協働して、地域の魅力の再発見やその価値を高める活動、小中学生に対する景観学習によって未来の担い手育成を支援しています。



東日本大震災津波における建築職員の対応

東日本大震災時において、建築職員は全国各地から応援や支援をいただきながら、応急仮設住宅(全13,984戸)の建設や災害公営住宅の整備、沿岸地域のまちづくりの指針となる「ふるさと景観再生の手引き」の策定など、復興に大きく貢献しました。大規模な災害時は自治体間の助け合いが重要です。平成28年熊本地震や令和6年能登半島地震では、岩手県からも建築職員を派遣し、住まいの再建業務に携わりました。





01 CAREER STORY

より良い公共施設で
岩手県を
住みよい街に

昆 雄輔

Yusuke Kon

技師 / 入庁 4 年目

[採用から現在まで]

令和 3 ～ 5 年度 県土整備部建築住宅課
令和 6 年度～ 一関土木センター

Q1 現在の仕事のやりがいや魅力を教えてください。

工事業者や設計事務所に就職しても現場を見ることはあると思いますが、公務員という立場でも施工途中のものを見ることが出来たり、多くの公共施設に携わることが出来たりすることが魅力だと思います。

Q2 職場の様子を教えてください。

仕事内容等聞きやすく風通しのいい職場だと思います。いろいろ関わり方がありますが、配属先が異動になった今でもプライベートでスノーボードに行ったり、飲み会を行ったりするくらい仲良くなった先輩たちもいます。

Q3 岩手県職員になって良かったと思うことを教えてください。

私は岩手出身なので、地元に戻ってこられて良かったと思いますし、転動してもほぼ岩手県内なので将来設計がしやすいと思います。また、県内の異動先で改めてその地域の魅力を発見できることも楽しいです。

Q4 岩手に帰ってきてよかったと思うことを教えてください。

私の場合は岩手に実家があるので、何かあったときに家族に頼りやすいことや、岩手に残っている友人たちと交流し易くなったのがよかったと思います。

Q5 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

建築職は岩手県職員全体から見ると人数の割合は少ないですが、県の建物の整備や建物の審査などなくてはならない存在です。皆さんと働けることを楽しみにしています。

岩手県公式動画チャンネルで建築職員の取組を紹介しています

県では「いわて県民計画（2019～2028）」のもと、県民の幸福度向上を図る10の政策や新しい時代を切り拓くプロジェクトを着実に進めるとともに、人口減少社会への対応等に向けた取組を行っています。

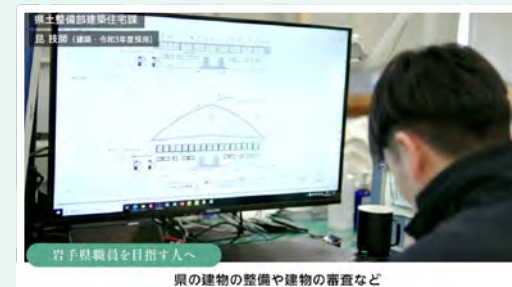
この度、第2期アクションプランの最優先事項である「人口減少対策」の取組に携わる職員として、建築職員の昆技師がインタビューを受けています。建築職の魅力が詰まった動画を、ぜひ御覧ください。



詳細は県HPへ

PROJECT STORY

いわての人口減少対策の
取組に携わる岩手県職員へのインタビュー。



岩手県職員を目指す人へ
県の建物の整備や建物の審査など



岩手県職員を目指す人へ
なくてはならない存在です

岩手県庁JOBモールオンラインセミナーについて

「技術系職種の業務について、もっと詳しく知りたい」という方へ、経験を積んだ建築職の先輩職員が業務内容について説明を行います。建築職の仕事に興味がある方であれば、どなたでも参加可能です。（説明会情報は随時X（旧Twitter）でお知らせします）



詳細は県HPへ

岩手県庁若手職員フリートークONLINEについて

「各職種の採用から概ね10年以内の若手建築職員（技師級程度）と直接話ができる少人数のオンライントークを毎年2月頃に開催しています。「技術系職種の業務についてじっくり聞いてみたい」「職場の雰囲気はどうなんだろう」など、若手職員があなたの気になるギモンにお答えします。（説明会情報は随時X（旧Twitter）でお知らせします）



詳細は県HPへ



より良いまちを育み、
残していきたい。

立花 莉乃

Rino Tachibana

技師 / 入庁4年目

[採用から現在まで]

令和3～5年度 北上土木センター
令和6年度～ 県土整備部建築住宅課

Q1 現在の仕事のやりがいや魅力を教えてください。

私は現在、県の所有する学校などの、スケールの大きい建物の新築や改修工事の監督業務をしており、多くの人が利用する施設をつくりあげていくことにやりがいを感じています。

また、住民の方々から、直接感謝される機会は少ないですが、安心安全を守る仕事や、まちの将来を見据えた“コンセプト”をつくっていく立場は、公務員ならではの魅力だと思っています。

Q2 建築職員同士や若手職員同士の交流の様子を教えてください。

建築女性職員の登山部があり、人生初登山に挑戦しました。山頂でお湯を沸かして食べるカップ麺が最高ですね。普段違う部署で働く人と行くので、悩んだ時に頼りになる人も増えました。

研修等で仲良くなった同年代の同僚と遊びに行くことも多く、こうした交流がいい気分転換になっています。

Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

岩手県には建築を専門に学べる4年制大学がありません。建築に興味があり、県外で学んできた皆さんは岩手県にとって、貴重な存在です。

また、県内で建築に携わりたいと考える高校生の皆さん。これまでは主に就職か県外に進学するしかありませんでしたが、令和6年度からIII種試験という新しい選択肢ができました。

ぜひ、岩手県の建築職員になって、一緒に岩手県を盛り上げて行きませんか？



岩手県庁OB・OG職員への訪問を受け付けています

岩手県職員への採用を希望する学生の皆様に、OB・OG職員（同じ大学等を卒業又は修了し県職員として任用されている者）が面会を通じて業務内容、職場内の雰囲気、仕事のやりがいなどをお伝えします。



詳細は県HPへ

面会の概要

- 学生1名に対し、同じ性別のOB・OG職員1名が面会を行い、質問等に応じます。
- 面会は、開庁日のうち、9時から17時までの間に、原則、県庁舎での対面又はオンラインで実施しています。
- 1回当たり最長1時間としています。

留意事項

- OB・OG職員は、SNSやメールなどを用いて、学生の皆様に直接連絡するなど個人間での情報交換は行いません。
- OB・OG職員訪問の実施の有無は、職員採用の選考には一切影響しません。

申込方法等

面会を希望する方は、面会を希望する日の1週間前までに岩手県総務部人事課あて、メールで申込みをお願いします。総務部人事課から、日程や面会場所等を連絡します。

申込先メールアドレス	メールに記載する内容
ah0002@pref.iwate.jp	(1)氏名 (2)性別 (3)学校名 (4)希望する職種 (5)連絡先 (6)面会希望日時(第3希望まで) (7)面会時に聞きたい内容 (8)オンラインの希望の有無 (9)OB・OG職員に事前に伝えたい事項

その他

- 同じ大学等を卒業又は終了した職員がいない場合等の事情により、別の大学等を卒業（修了）した職員が面会する場合がありますが、あらかじめ御了承をお願いします。
- ご不明な点は、岩手県総務部人事課（mail：ah0002@pref.iwate.jp、電話：019-629-5072）までお問い合わせください。

数字で見る、ワーク・ライフ・バランス

年次休暇平均取得率
(年間20日分支給)

13.6日

時間単位での取得も可能！
取得しなかった分は最大20日翌年に繰越できます

月間平均超過勤務時間数
(令和4年度実績)

15.6時間

か・えるの日運動

原則毎週水曜日を「定時退庁の日」とし、家庭での子育てや家事等を行う「か・えるの日」として県庁全体で定時退庁の呼びかけをしています。

入庁3年間の離職率
(令和2年度採用者)

8.2%

参考 (※厚生労働省調べ)

- 新規高卒就職者の離職率 37.0%
- 新規大卒就職者の離職率 32.3%

育児休暇取得率 男性職員の取得率も上昇しています！
(令和4年度実績)

女性 100% 男性 78.8%

岩手の暮らしの
安心安全を
守っていきたい

高橋 健

Ken Takahashi

技師 / 入庁 5 年目

[採用から現在まで]

令和 2～3 年度 県土整備部建築住宅課
令和 4～5 年度 県南広域振興局土木部
令和 6 年度 県土整備部建築住宅課

Q1 現在の仕事のやりがいや魅力を教えてください。

現在の仕事は、公共建築物の工事の発注業務や設計・工事の監督業務を行っています。計画段階から関係部局と協議し、受注者と打合せを入念に行いながら、形が残るものを作るということにやりがいを感じます。

Q2 岩手に帰ってきてよかったことを教えてください。

まず一番に感じることは、自然が豊かということです。釣りや花見、ウィンタースポーツなど四季折々のイベントを楽しむことができ、岩手にいるだけで心が安らぐ場所だと思います。他にも、人が優しい、食べ物が美味しい、広々としていて過ごしやすい・・・大学で県外に出たからこそ岩手の良さを強く感じています。

Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

建築職が行う業務範囲は多岐に渡り、行政ならではの知識と経験を積むことができます。岩手県のまちづくりの推進や公共建築物の新築といった大きなプロジェクトに携わることができるやりがいのある仕事です。また、職場の先輩方は経験豊富な方たちが多く、仕事のことはもちろんのこと、建築の深い話まで聞くことができるので、自分自身のスキルアップを図ることができます。

岩手の建築をより良くするために、一緒に働けることを心よりお待ちしております。



インターンシップ実習の受入れについて

本県では、平成12年度から各大学のご要望等も踏まえ、インターンシップ実習生の受入れを実施しています。

これまで、建築職でも、業務紹介のページに掲載した内容等に関する実習や、県が実施中の工事現場の見学、完成した建物の定期点検の様子や実例見学等を毎年実施してきました。

今後の予定につきましては、県ホームページにて随時発信していきます。



詳細は県HPへ

トップページ > 県政情報 > 人事情報 > 岩手県知事部局インターンシップ実習生の受け入れについて

インターンシップ実習体験談

高橋技師は、インターンシップ実習での経験を経て、岩手県の建築職員となりました。

当時のインターン実習の様子を、高橋技師に語ってもらいました。



話し手(写真左)：高橋技師(採用5年目)
聞き手(写真右)：阿部主任(採用13年目)

— インターンシップ実習を希望した経緯を教えてください。

高橋 もともと行政の仕事に興味があったということもありますが、漠然としていた建築職の業務内容を実際に体験したり、現役の職員の方から話を聞いたりすることで、仕事への理解を深めた上で受験したいと考えていたからです。



— 当時はどのような実習を行いましたか。

高橋 実習を受けるにあたっては、自身が興味を持っていることや学んでみたいことを提出するのですが、私は、「住みやすいまちづくりを進めるための方法、住宅を整備・管理する方法、都市計画、建設工事の現場体験」と、幅広く学んでみたいことを提出しました。実際のインターンシップ実習では、事前に興味があった県のまちづくり行政や営繕行政に関する実習のほか、建築構造計算審査の実習、災害公営住宅の建設現場の見学等を行いました。

— インターンシップ実習で印象に残っていることを教えてください。

高橋 実際に多種多様な建築職の業務を体験等することで、漠然としていたイメージが具体的なものになったという経験が印象に残っています。その他には、同じ大学出身の阿部さんとお話したことも覚えています。

阿部 私も当時のことを覚えています。私が担当している業務の概要や職場の様子等をお話ししましたよね。県では、OBOG訪問という制度もありますが、インターンシップ実習の機会にも、同じ大学を卒業又は修了した職員との面会時間を確保することも可能なので、ぜひ、学生の皆様には、インターンシップ実習への参加を御検討いただきたいです。

— 最後に、これからインターンシップ実習への参加を検討している皆さんにメッセージをお願いします。

高橋 私もそうでしたが、建築行政の仕事内容は漠然としているかと思います。その漠然としたイメージを確実なイメージとするためには、インターンシップ制度は非常に有意義のあるものなので、行政の仕事に興味がある方は、ぜひインターンシップ実習の受講を検討してみてください。

住む人、訪れる人にとって
愛着がわく
まちづくりをしたい。

千葉 賀子

Noriko Chiba

主任 / 入庁11年目

[採用から現在まで]

平成26～27年度 県土整備部建築住宅課
平成28～30年度 北上土木センター
令和元～3年度 一関土木センター
令和4年度～ 県土整備部都市計画課

Q1 現在の仕事のやりがいや魅力を教えてください。

私は現在、景観や屋外広告物、都市再開発等のまちづくりに係る業務を担当しています。岩手県の貴重な財産である素晴らしい景観を保全していくためのルール策定や地域の住民が景観を通じて地域に愛着をもつための取り組みの推進、また今ある都市を安全・安心な魅力ある都市へと再生する都市再開発の法定認可や市町村への支援を通して、その地域に住む人、またその地域を訪れる人にとって魅力あふれるまちづくりを手助けできることにやりがいを感じています。

Q2 職場の様子を教えてください。

私が所属している都市計画課は全体で二十数名の部署で、事務職、土木職、建築職の職員で構成されています。来客が多い部署ではないので騒々しい雰囲気はなく、皆さん自分の業務に集中しつつも、他職員との連携を大事にしながら職務に取り組んでいます。職務以外にも課内や担当内で定期的に親睦会を開催しており、他職員とコミュニケーションを深めるいい機会になっています。

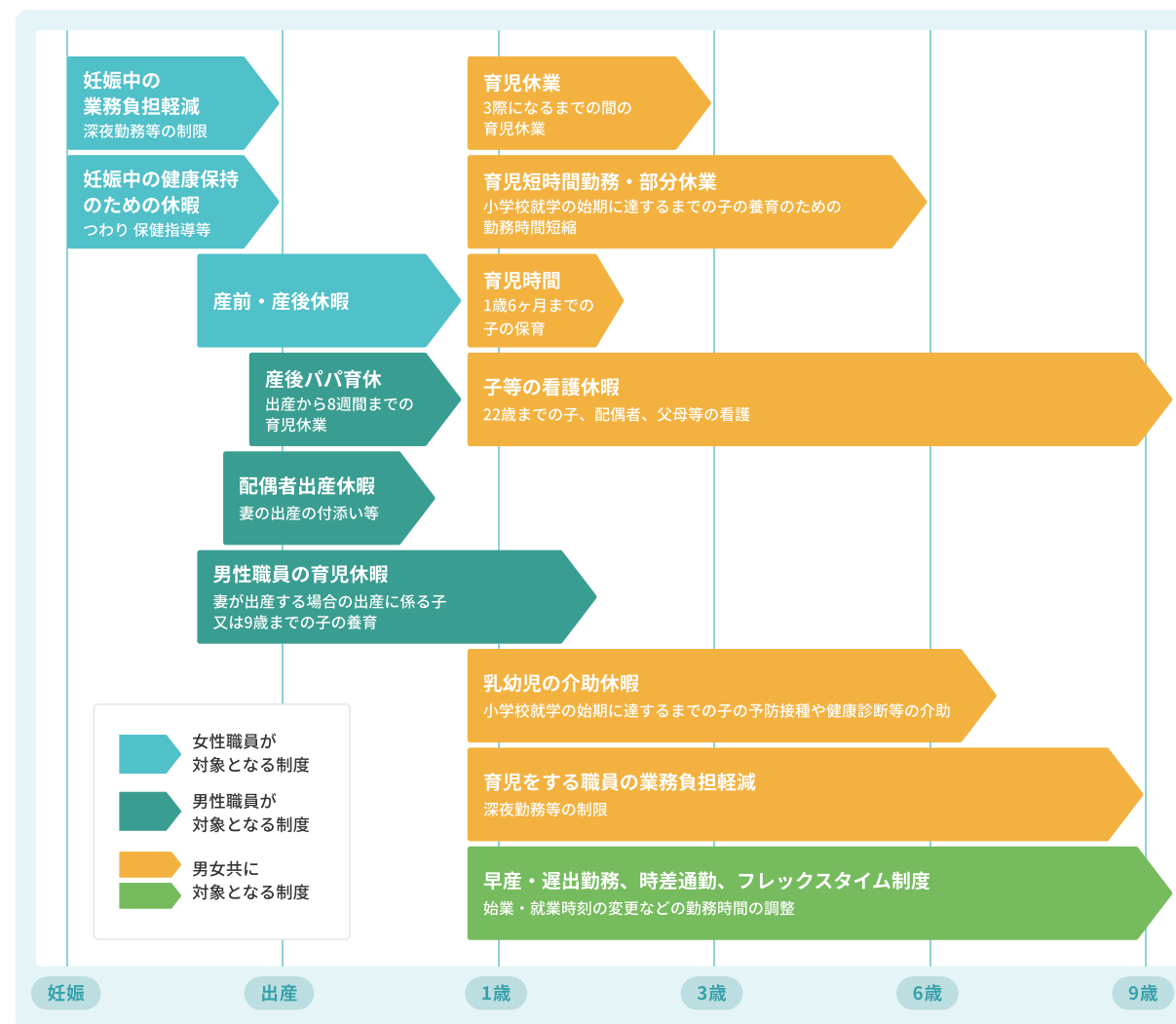
Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

県職員は、住宅の施策に関することや建築物の審査、県営建築物の計画・監理といった建築に関わる部署以外にも、まちづくり等を行う都市計画の部署や木材利用促進等を行う農林の部署など、多様な角度から建築に携わることができます。また、福利厚生も充実しており、趣味や家庭などのプライベートと仕事の両立を図ることができるのはとても魅力的だと思います。一緒に仕事をできることを楽しみにお待ちしております。



仕事と家庭の両立のための制度

県では、結婚、出産は個人の決定に基づくものであることを基本としつつ、地域社会全体で子育てする方々や子どもを温かく見守る環境づくりに取り組む機運を醸成するため、「いわてで生み育てる県民運動」を推進しています。岩手県職員が活用できる主な制度は次のとおりです。



育休取得体験談 - 千葉主任にお話を伺いました -

育休を約1年取得しましたが、希望通りの期間、育休を取得し子供と過ごすことができたこと、また、生活面でも育休中は給与のかわりに経済的支援として手当が支給されることがとても有難かったと感じています。復職後の働き方も育児のための部分休業や育児短時間勤務等、それぞれの家庭にあった形態を選択することができ、私自身も、勤務時間帯の変更及び特別休暇の取得により、夕方に家庭の時間を作ることができています。育休に関する制度があることだけでなく、制度を活用することについても支援及び理解がある職場なので、有難いなと思っています。





岩手をより知り、
より良い建築を
創りたい。

高橋 香菜子

Kanako Takahashi

主任 / 入庁12年目

[採用から現在まで]

平成25～27年度	盛岡広域振興局土木部	令和元～2年度	県土整備部建築住宅課
平成28年度	市町村派遣（陸前高田市）	令和3～5年度	県土整備企画室
平成29～30年度	県土整備部都市計画課	令和6年度	北上土木センター

Q1 岩手県職員を志望した理由を教えてください。

東日本大震災津波が発生した際は大学生で、所属していた研究室の関係で建築物の被害調査を行う機会がありました。現地の状況を見ながら、ふるさとのために、建築を学んだ自分には何が出来るかを考えるようになりました。建築物そのものだけでなく、地域全体の復興や防災、まちづくりに携わることができると思い、岩手県職員を志望しました。平成28年度は陸前高田市の応援職員として派遣され、市の建築の建設や仮設住宅の入退去などの業務に携わることもできました。

Q2 岩手に帰ってきてよかったと思うことを教えてください。

同期の建築職は少ないですが、職種に関わらず一緒に新採用研修を受けるため、今でも同期のつながりがあり、仲の良い同期や県職員同士で飲み会、キャンプ、スノーボードなどを楽しんでいます。岩手は、季節や地域ごとの景観や食事、アクティビティを身近に、お金もあまりかけずに楽しめるので、とても贅沢な環境だと感じています。

年次休暇や時間単位での休暇もとやすい環境です。最近は国内旅行が多いですが、コロナ禍前は、海外旅行にも行くことができました。

Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

ある研修での「自治体職員の使命感は、地域への愛情から生まれる。愛情は、地域の歴史、現状と未来に向かう動きについてよく知ることによって深められる。」という言葉が印象に残っています。県職員になり様々な部署での業務、また業務外の活動等を通じて、学生の時は知らなかった素敵な建築、建築やまちづくりに関わる方たちとの出会いや学びがあり、より岩手に愛着を持つようになりました。岩手に愛着があり、良い建築をつくりたい志を持つ県職員が増えれば、きっと、誇りに思える、より魅力的な岩手を創っていける力になると思います。

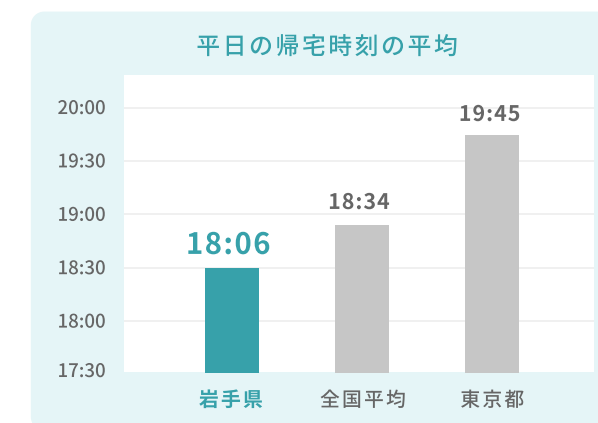
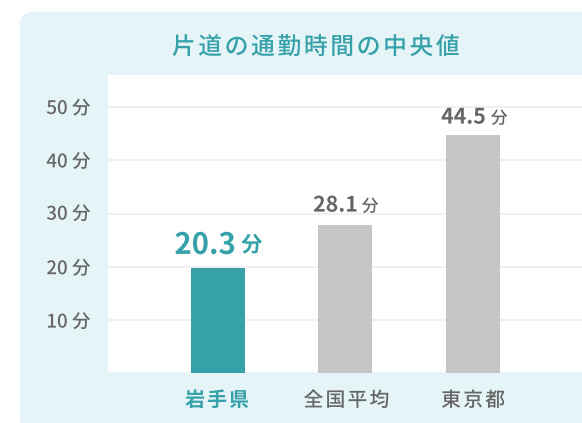


首都圏と比較した岩手県の暮らしやすさについて

岩手県は、全国平均や東京都のような首都圏に比べ、家賃、物価が安いと、趣味などにもお金を使うことができます。

制度	岩手県	全国平均	東京
大卒者初任給	215,100 円	228,500 円	239,200 円
家賃平均月額	39,850 円	55,609 円	80,918 円
消費者物価地域差指数 (全国平均: 100.0)	99.1	100.0	104.7

また、通勤時間が短い分、早く帰宅できるため、休日はもちろん平日にも家庭や趣味に多く時間を使うことができます。



ビジネスパートナーとの連携事例について

高橋主任は、建築士の資格を取得した際に岩手県建築士会に入会し、これまで秋田県で開催された「建築士会全国大会」や、女性委員会の活動などに参加しています。女性委員会では、建築の見学会や講演会の企画、建築物やまちなみの価値・魅力を伝えるための活動（盛岡市鉾屋町の雛祭の手伝い、「魅力ある和の空間ガイドブック」の発行、「芝棟住宅」の調査、段ボールハウスのワークショップ）などを行っています。

建築士会は、行政以外にも設計事務所や施工会社に勤める人も多くいます。県内外の建築士とつながり、職能を活かした地域貢献につながる活動を通じて、行政の仕事とはまた違った充実感を味わうことができます。



岩手の建築の魅力を
次の世代へ
継承したい。

阿部 哲志

Tetsushi Abe

主任 / 入庁13年目

[採用から現在まで]

平成23年度	県土整備部建築住宅課	平成29～30年度	医療局経営管理課
平成24年度	大船渡土木センター	令和元年度	市町村派遣（陸前高田市）
平成25～26年度	県土整備部建築住宅課	令和2～5年度	県土整備部都市計画課
平成27～28年度	二戸土木センター	令和6年度	県土整備部建築住宅課

Q1 建築職員のジョブローテーションについて教えてください。

私はこれまで、住宅行政、建築行政、営繕行政、まちづくり行政を担当する部署にそれぞれ配属されてきました。前任地では、都市計画部局において、県民の暮らしや仕事の基盤となる都市計画区域の土地利用や都市施設の整備等の都市づくりの基本理念や基本方針等を示した「岩手県都市計画ビジョン」を改訂等を担当しました。建築分野は、少子高齢化の進展等に伴う人口減少や、頻発化、激甚化する大規模な自然災害、脱炭素社会の構築などの課題にも対応していく必要があることから、個々の職員の希望等も踏まえて、様々な業務を経験することができます。

Q2 ワーク・ライフ・バランスの取組について教えてください。

例えば、子育て支援については、それぞれの職場内で、育児休業等を取得しようとする職員が休みやすい環境づくりに積極的に取り組んでいます。私も、2人の子供が生まれた際に、それぞれ制度を活用させていただきましたが、当時よりも、職員個別の事情に応じた育児休業等の休暇取得への理解が深まってきていると感じています。子育ては一日一日がとても特別で、家族と一緒に過ごす時間は私自身にとってかけがえのないものです。それぞれの働き方に合わせて仕事ができることも、県職員の魅力ではないでしょうか。

Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

私は、岩手県職員という一つの組織の中で、様々なアプローチから建築に携わることができる現在の環境に魅力を感じています。建築職の業務内容は、住宅政策の包括的な制度整備、建築基準法をはじめとした関係法令の審査や検査業務及び県が管理する建物の整備など、非常に多岐に渡りますが、一つの民間企業で、この全ての業務を経験することはなかなか難しいと思います。価値の創造をしている県民の方々の支えとなっていけるように自身も頑張っていきたいと思いますが、ぜひ一緒に、岩手県の建築職として働いてみませんか？



育児休業制度

子どもが3歳になるまでは、男性・女性ともに取得できます。令和4年度は、女性100%、男性78.8%が取得しました。（知事部局等）

育児休業の活用例

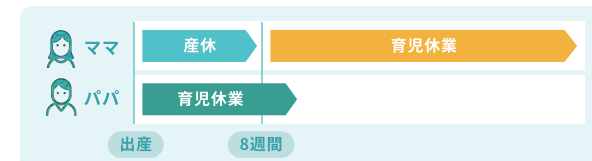
バトンタッチ型 妻の復帰と入れ替わりで取得



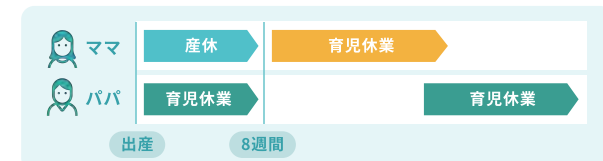
引継ぎ型 妻の復帰に合わせて一定の期間をかぶせて取得



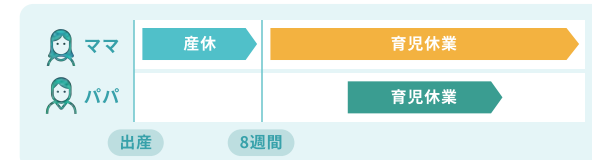
産後サポート型 妻の産後をしっかりサポートするために出産に合わせて取得



産後サポート併用型 妻の産後&復帰をサポートするために2回に分けて取得



期間内取得型 妻と一緒に育児をサポート仕事のタイミングに合わせて取得



妻サポート型 妻が働いていなくても産後と育児をサポート家庭の事情にタイミングに合わせて取得



出産・子育てをサポートする制度

制度	内容・利用期間等
産後パパ育児休業	出生から8週間までの育児休業
配偶者出産休暇	妻の出産の付添い等
男性職員の育児休暇	妻が出産する場合の出産に係る子又は9歳までの子の養育
育児休業	3歳になるまでの間の育児休業
育児短時間勤務・部分休業	小学校就学の始期に達するまでの子の養育のための勤務時間短縮
育児時間	1歳6カ月までの子の保育
子等の看護休暇	22歳までの子、配偶者、父母等の看護
乳幼児の介助休暇	小学校就学の始期に達するまでの子の予防接種や健康診断等の介助
育児をする職員の業務負担軽減	深夜勤務等の制限
早出・遅出勤務、時差通勤、フレックスタイム制度	始業・終業時刻の変更などの勤務時間の調整

新たなことに
チャレンジして
地域に貢献

佐々木 加奈枝

Kanae Sasaki

課長 / 入庁27年目

[採用から現在まで]

平成9～11年度	盛岡地方振興局土木部	平成27～28年度	医療局経営管理課
平成12～14年度	県土整備部建築住宅課	平成29～30年度	北上土木センター
平成15～18年度	盛岡地方振興局土木部	令和元～3年度	農林水産部林業振興課
平成19～23年度	県土整備部建築住宅課	令和4～5年度	花巻土木センター
平成24～26年度	県土整備部建設技術振興課	令和6年度～	盛岡広域振興局土木部

Q1 岩手県職員になって良かったと思うことを教えてください。

市町村において街並みを整備する事業の創設、県産木材利用の推進、環境共生住宅を建設するなど、魅力あるまちづくりや先進的な取組みに携わったことです。

また、平成19年の新潟中越沖地震発生時には、被災建築物応急危険度判定士を派遣、岩手・宮城内陸地震時には応急仮設住宅を建設、東日本大震災時には、応急仮設住宅や災害公営住宅の建設、被災県立病院の再建に携わり、有事への対応や復興に貢献したことです。

Q2 管理職として考えていることを教えてください。

未来の岩手県、数十年後の岩手県が多様な魅力ある県になることを常に意識しています。

そのために、それを実現する多様な価値観を持った魅力ある県職員の育成が重要と考えています。職員に対し、仕事において、その個性や得意分野を生かすことや、建築技術者としてはもちろんですが、専門分野以外も含め、様々な経験や各種研修に参加するよう促しています。

Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

県の建築職の仕事は、まちづくり・景観、許認可、多くの県民が利用する公共施設の建設、他県での災害発生時の応援など多岐に渡っています。仕事の多くは後世に形に残る建築物に関わることであり、入庁前には考えていなかったような新しいことにもチャレンジできる職場です。ぜひ、一緒に、岩手県の魅力的な街並みや住みよいまちづくりをしましょう。



女性職員の活躍支援と積極的な登用について

本県の女性職員の活躍推進に向けては、あらゆる領域で女性職員が活躍できるよう、平成28年3月に「女性活躍推進のための特定事業主行動計画」を策定し、女性職員の育成や活躍に向けた取組を支援する職場づくりなどに取り組んでいます。

また、「いわて県民計画（2019-2028）」の「行政経営プラン」においても「女性職員の活躍支援と積極的な登用」を具体的な推進項目に掲げ、女性職員のキャリア形成支援や能力向上に取り組んでいます。

指標	現状値 令和3年	年度目標値			計画目標値 令和8年
		令和5年	令和6年	令和7年	
管理職（総括課長級以上） に占める女性職員の割合	9.5%	11.6%	13.2%	15.0%	15.0%
女性職員の キャリア形成支援	計画的な人事配置				
	女性職員キャリアデザイン研修、 女性職員リーダー研修等の実施・見直し（随時）				研修の実施・ 見直し（随時）
	女性職員研修の検証・見直し				
	職員活躍事例集の活用・見直し（随時）				
若手職員に対するメンター制度の活用					
女性活躍に向けた 職場環境づくり	ダイバーシティマネジメント研修の充実、実施				
	ダイバーシティマネジメント 研修の検証・見直し				研修の実施・ 見直し（随時）

現役職員から業務内容や仕事のやりがい等を聞いてみませんか？

各学校進路指導担当者の皆様へ

岩手県職員の建築職の魅力伝える取組として、学校や企業等が主催する合同説明会や就活セミナー等への参加を行っており、セミナー等への参加の機会を通じて、岩手県の建築職員の業務内容や職場の雰囲気、仕事のやりがい等をお伝えしています。

今後は引き続き、合同説明会等への参加を行うほか、直接学校へお伺いの上岩手県の建築職員の業務内容の紹介等を行うことも検討しています。進路指導を御担当する教職員の皆様におかれましては、ぜひ御検討のうえ、御連絡をお待ちしています。

問合せ先 DD0002@pref.iwate.jp
岩手県人事委員会事務局職員課



公務員として働く魅力ってなんだろう？ そんな皆さんの疑問にお答えします。

Q1

建築職の公務員の特徴は？

公共建築物の設計や工事監理、建築物の省エネ対策や県産木材の振興、快適で魅力ある街づくりの推進等、民間では経験出来ない仕事がたくさんあります。



Q2

国や市町村と、県の仕事って何が違うの？

国は日本全体、市町村は住民に身近な業務を行います。県は、岩手県全体の未来のため、幅広い仕事で県民の暮らしを支えています。



Q3

民間とは異なる仕事のやりがいは？

民間の場合は個々の会社の利益を上げることを通じて社会貢献を目指しますが、県の場合は「岩手のため」「県民のため」に仕事をすることが目的です。大きく言えば、一つひとつが県民の暮らしと未来につながるのが県の仕事です。

Q4

転勤はあるの？
転勤が多いと大変なのは？

確かに転勤はありますが、行ったことのない土地で暮らし（触れる、食べる、遊ぶ、体験する）、様々な人と触れあう体験を通じて、視野が広がり、自身のステップアップにもつながります。



Q5

サポート体制はどうなっているの？

職務に専念するための多彩なサポートがあるほか、建築職員には、資格取得に向けた充実した研修制度もあります。（研修制度の詳細はP21参照）



Q6

建築学科を卒業しないと建築職種の採用試験は受験できない？

学歴に関わらず受験が可能です。建築学科を専攻していない方も建築職員として活躍しています。令和6年度からは、第III種試験の募集も始まっています。

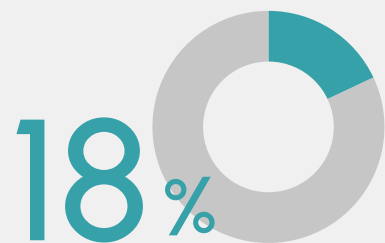


建築職に占める女性の割合

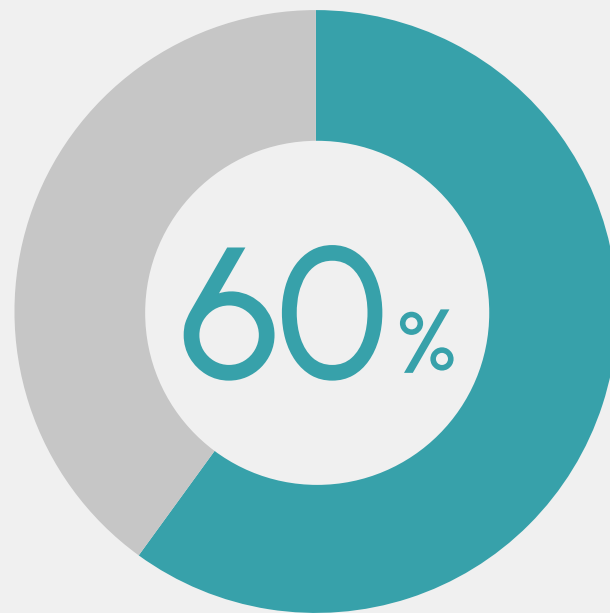
女性も活躍しています！

建築職に占める女性の割合は

年々増加しています！



建築職全体に占める女性の割合



20代建築職に占める女性の割合

建築職員の1日

勤務時間は午前8時30分から午後5時15分までが基本ですが、子育て中の職員などは時差出勤も可能です。そのほか、庁外からもアクセスできる業務システムの構築など、テレワークの推進にも力を入れています。

工事監理を担当するAさんの場合



時差出勤のBさんの場合

